

令和7年度

試験名:個別学力検査(後期日程)

【 人間学群 教育学類 】

区 分	標 準 的 な 解 答 例 又 は 出 題 意 図
論 述	<u>問題</u> 次の文章を読み、以下の二つの問に対して解答しなさい。 (この部分は、著作権の都合により公開できません)

【出典】白井俊著『OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来。—エージェンシー、資質・能力とカリキュラム—』ミネルヴァ書房、2020年、135・136頁。（一部改変）

【問1】

文章中の下線部「態度の獲得は、知識やスキルの「転移 (transfer)」に対しても影響を与える」とはどのようなことか、200字以内で説明しなさい。

【問2】

知識やスキルとの関係で、態度及び価値観がなぜ重要なのかということについて、自分自身の考えを800字以内で論じなさい。

出題の意図

後期日程の試験では、論述により応答性、論理性等を評価することになっている。本問題においては、コンピテンシーの概念に着目し、知識やスキルとの関係で、態度及び価値観がなぜ重要なのかについて論じている文章を読ませ、文章の内容に関連する二つの問いに論述形式で解答させることによって、問いに対する応答性と論述における論理性を評価する。

【問1】は、「態度の獲得は、知識やスキルの「転移 (transfer)」に対しても影響を与える」とはどのようなことか、この文章に続く部分で説明されていることを理解し、具体的な例を挙げたり要点をまとめたりして説明することを求めている。

(解答例)

例えば、ストリート・チルドレンたちの多くは、路上で商品を売っている際には基本的な計算ができるが、学校における数学の問題となるとできなくなる。同じ計算というスキルにかかわることであるにもかかわらず、それが用いられる文脈についての認識が異なることで、スキルがうまく発揮されないということになる。すなわち、スキルを発揮するための文脈や状況に関する認識の在り方が、転移に大きな影響を与えるということ。

【問2】は、知識やスキルとの関係で、態度及び価値観がなぜ重要なのかについて、自分自身の考えを述べることを求めている。この文章の続きには、第二の理由として、態度及び価値観がコンピテンシーを発揮していく際の「指導原理 (guiding principle) として機能することが述べられている。態度や価値観は、知識やスキルを獲得する際に必要なだけでなく、知識やスキルを活用する際にも必要であることや、それを方向付ける重要な役割を果たしている。こうした多面的な見方ができることや、教育における知識やスキルへの偏重の改善について、自らの考えを論理的に説明できているかを採点の観点とする。